

市議会 いせさき

平成 17年10月16日 №4



広報いせさきと一緒にとして保存して下さい。

第4回定例会 9月1日～9月26日 26日間

利根川 島村渡船

就任のあいさつ



議長
佐藤 幸夫

九月一日の本会議において、議員各位のご推挙により市議会議長に就任いたしました。微力ではございますが、本市発展と、市民福祉の増進のため、誠心誠意努力いたす所存でございます。

合併から九カ月あまりが経過いたしました。この間、市議会は合併に伴う諸課題に積極的に取り組み、二十万市民が安心して暮らせる新市建設のための議会運営を展開してまいりました。

今後とも、合併の効果を最大限に生かし、二十万都市にふさわしい商工業の発展、幹線道路をはじめ生活道路の建設、住環境の整備、食を守る農業振興など市民の負託に応える議会活動を行うとともに、地域の文化・伝統を尊重した、潤いと活気のあるまちづくりのため、なお一層の努力を重ねてまいりたいと考えておりますので、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

主 な 内 容

- 一 般 質 問…… 2～6ページ
- 成 立 した 議 案…… 6～7ページ
- 決 算 認 定…… 7～9ページ
- 議 員 提 出 議 案…… 9～10ページ
- 委 員 会 構 成…… 10ページ

質 問

9月7・8日の2日間一般質問が会派代表者14人の議員により行われました。

主な質問の要旨と答弁のあらましを掲載しました。

アスベスト対策について

境クラフ 茂木 典之

質問

アスベストは耐熱、断熱の特性があり、吹き付け材料や、絶縁材などに使用されていましたが、様々な肺疾患を引き起こし社会問題となっています。そこで、本市ではどのようにこの問題を調査、

市長

本市の学校施設四十

八校、公共施設二百四十九カ所の実態調査をしたところ、アスベストの混入が疑問視される、吹き付けロックウールが使用されている施設があることが判明。そのため早急に分析調査を行い、アスベストが混入されているロックウールは、専門業者に依頼し飛散防止対策を講じた上で、撤去処分したいと考えています。

次に、石綿管布設替事業について、石綿管の総延長は二百十五・七キロメートルに対して、平成十六年度末の実施延長は、百・八キロメートルで、実施率四十六・七パーセントです。



社会問題となっているアスベストの対策は

指定管理者制度における

選定基準について

境クラフ 藤村 辰雄

質問

指定管理者の指定手続きについては、その正当性及び透明性を担保するために選定基準を明確にすることが大切であるが、当市の考えをお伺いしたい。また、指定管理者の選定に当たり、選定委

市長

員会等を設置すると思うが、中立・公平な委員の選任についての考えをお聞きしたい。

するために、民間人を中心とした選定審議会を設置し、総合的な評価に基づき指定管理者の候補を選定します。



適正な指定管理者の選定を

る事業計画書等を提出させ、選定審議会において、その内容が、利用者の声が反映されるものであること、施設の管理運営を安定的に行う能力や意欲があること、管理経費の縮減が図られるものであることなどを総合的に勘案し、当該施設の管理を行わせることが最も適当と認められる団体を選定いたします。

教育行政について

境クラフ 小谷原 達夫

質問

市内の児童、生徒の学力の傾向についてどのような把握、認識しているか、また、教員の確保、予算の措置、授業時間の確保についての考えをお伺いしたい。

教育長

学力については、平成十六年五月に小学校六年生及び中学校三年生を対象に実

施された調査及び、今年度一学期に全小・中学校で実施した学力検査の結果から考え併せますと、学力は全国平均点を上回る位置にあり、学年が進行するにつれて着実に向上していること認識しています。

授業時間の確保については、平成十八年度から夏季休業を変更し、授業日を五日間増やしたいと考えています。



学力アップのための取り組みを

次に、公民館の休館日及び

使用料について、合併の効果を実感するためにも、早急に策定、再編するべきと考えるが、考えをお聞きしたい。

検討したいと考えています。

免対象となっています。

般

支所機能強化及び

地域環境整備対策について

東クラブ 今井 照彦

質問

去る六月の定例会において、住民サービスの水準の確保、複雑多様化する住民ニーズへの対応を図り、支所機能の充実を図るため、議員提出議案が提出され、全会一致で決議されました。その後、

いてお聞きしたい。

市長 伊勢崎市本庁・支所機能等検討会議は月二回のべ

ースで会議を開催しており、諸問題や改善策などを中心に検討、研究を重ねています。

すでに支所のみで対応し、完結できるように改善した例としては、道路の軽易な補修業務や交通安全施設の修繕業務があり、今後、他の分野においても、住民サービスの観



地域環境整備の対応は

点から積極的に検討したいと思っています。

外環状道路の整備計画は、あずま地区内の県道大間々境線から、境地区の上武国道までの総延長七・六キロメートルで、合併時の新市建設計画の重点プロジェクトです。事業の着手については、総合計画の中で位置付け、国庫補助合併特例債等を考慮しながら検討したいと考えています。

中学生の職場体験学習について

東クラブ 須田 育男

質問

中学二年生を対象に、生徒が職場で実際の仕事を体験することにより、職業に対する知識や理解を深め、自己の生き方と関連させて考えさせる体験学習を実施していると思うが、成果についてお聞

教育長

昨年度は、旧四市町村の全中学校で体験学習を実施し、地域の事業所等で勤労体験を行った生徒からは「仕事の大変さや、やりがいを感じた」という声が多く聞かれ、学校や家庭からは「その後の生徒の行動に落ち着きや自発

性が出てきた」という声も聞いており、勤労観や職業観を育むことができたと考えています。

ホームヘルパー三級の資格取得は、群馬県の方針で、中学生への資格取得のための講座開設が認められていませんので資格は取得できませんが、職場体験活動等を実施していく中で介護体験の場を確保したいと考えています。



中学生の職業観に対する教育は

三軒屋遺跡について

東クラブ 阿久津 吉章

質問

殖蓮小学校敷地内で全国初めての八角形をした倉跡などが発見されました。現地説明会に参加し、約一千年前の役所跡との説明を受けましたが、現在までの調査の状況についてお伺いしたい。

次に、遺跡の管理方法と今後の対応について、埋め戻したあとは八角形が確認できなくなるため遺跡の跡などを描き、足と目で古代遺跡を実感する方法もあると思うが考えをお聞きたい。

教育長

平成十六年度の調査では、掘立柱建物十一棟と礎石建物一棟の倉庫跡を確認し、遺物は僅かですが、織内で生産された土器片も発見されています。本年四月から八月までの調査では、八角形の礎石建物の倉庫跡のほか、七棟の四角形をした掘立柱建物の遺構が確認されています。



貴重な古代遺跡の管理は

全国で唯一の発見になります。次に、遺跡は遺構保存のため埋め戻しを行いましたが、重要な遺跡であることから、現地に規模や形状を説明する表示を行いたいと考えています。三軒屋遺跡は、文化庁においても全国レベルの重要な価値を有する遺跡であると判断されており、今後、国指定史跡への指定を見据えて保存整備を検討したい。

お知らせ

次回、12月定例会は、12月1日(木)から12月16日(金)の16日間で、一般質問は5日(月)・6日(火)・7日(水)の予定です。

なお、市議会本会議は、清掃リサイクルセンター21で開催されます。

健康医療の元氣なまちづくりについて

伊勢崎クラブ

野田文雄

質問

急激な少子高齢化の進行に伴い、健康で元気に暮らせる社会環境へのニーズが急増しています。そこで、市民の健康を守るため、現在取り組んでいる事業について、また、二十万都市に必要とな

市長

公共施設への自動体外式除細動器設置による、救急救命率の向上。病院・公園・福祉施設などが集中する市民

病院北の西部公園にフィットネス機器を設置し、これを利用した高齢者向け体操教室の開催。さらに、西部公園と広瀬川対岸を結ぶ人道橋の整備を計画しています。これは、広瀬川をはさんだ総合的な健康医療ゾーンの機能強化に取り組みものであり、今年度詳細設計を進めます。

新たな施策としては、十一月から毎月第一日曜日を「健



健康で元気に暮らせる社会への取り組みは

「康の日」として制定し、健康に関するイベントや行事などを開催いたします。

本市は、広瀬川、粕川、早川が市内を縦断し利根川に合流する位置にあり、市民が自然に包まれながら水辺を歩いたり、走ったり、サイクリングするなど、その人に合った方法で楽しい健康づくりに役立つよう環境の整備に取り組むたいと考えています。

市内幹線道路の事業推進について

伊勢崎クラブ

本木経明

質問

名和幹線道路の事業予定について、また、東毛広域幹線道路の進捗状況についてお聞きしたい。

市長

名和幹線の平成十七年度事業については、葦川を横断する新しい橋の構造等に

を越え、市道境二級二十四号線までの延長一千四百五十メートルの区間を本市が施工し、県は東武伊勢崎線をまたぎ、県道伊勢崎深谷線の境木島交差点までの一千四百メートルの区間を施工することになりました。さらに、葦塚工区についても境工区に続き、葦塚土地区画整理事業区域域から県道駒形柴町線までの八百五十メートルを県が施工し、本

市と県は、両工区の早期完成に向け、協力し合うことで基本的に一致しました。これにより、本市の未着手区間四千八百メートルのうち、三千七百メートルの区間が事業化に向け大きく前進することになりました。なお、事業実施については、今後、国や県と協議を重ね、平成十九年度からの事業化を目指したいと考えています。



幹線道路の進捗状況は

農業振興策について

伊勢崎クラブ

金井秋雄

質問

農業を取り巻く情勢が厳しい中、国は新たな経営安定対策を導入するとしており、認定農業者で四ヘクタール、集落営農組織で二十ヘクタール以上が麦作経営安定資金等を交付する要件とのこと

市長

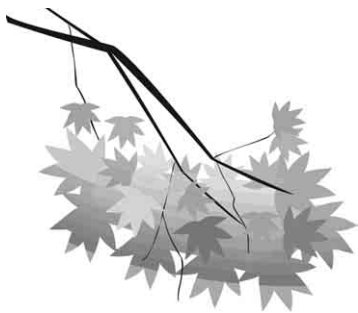
そこで、本市における地区別の認定農業者数・経営形態・認定農業者協議会の現状。また、新たな担い手育成対策についてお聞きしたい。

四百九十人で、伊勢崎地区百六人、赤堀地区百七十一人、あずま地区八十一人、境地区百三十二人で、稲作を主体として露地野菜、施設野菜を組み合わせた複合経営体と施設野菜、酪農の単一経営体が主体となっています。



農業の現状と担い手育成は

統合を目的とした伊勢崎市認定農業者協議会連合会がこの六月に組織されました。本市は、水田面積が多く米麦の二毛作が主体であることから、早急に担い手対策を推進する必要があると考えており、認定農業者の育成・確保及び集落営農の組織化・法人化に向け、佐波伊勢崎地域担い手育成総合支援協議会を九月一日に設置しました。



般

赤堀グラウンドゴルフ場について

赤堀クラブ 神沢 喬

質問

グラウンドゴルフ場は高齢者の交流の場としてや、自然の中での適度な運動により、健康の維持、増進の観点からも良い施設であり、この様な施設利用を推進することで医療費の減少につなげてい

る自治体もあるということですが。赤堀グラウンドゴルフ場は残念ながら利用者が少ないように見受けられるが、利用状況について伺いたい。また、二カ所ある入り口は未舗装の坂道で、自転車での利

用は大変危険であると思われるが、この道路の整備及び、周辺に施設の案内板が無いため、近所の民家に場所を訪ねる人が立ち寄るということであるが、案内板の設置についての考えをお聞きしたい。

市長

赤堀グラウンドゴルフ場の利用状況は、平成十四年六月に十六ホールの供用を開始し、平成十五年度の利用件数及び利用者は十四件、三

百七十五人、平成十六年度は百八件、一千百十八人であり、利用者は増加しています。出入口整備については、グラウンドゴルフ場の出入口は坂になっており、未舗装であるため、高齢者の方に安全に利用いただけるよう順次整備を検討したいと思っています。



交流・健康施設としての活用を

教育行政について

赤堀クラブ 糸井 敏雄

質問

IT社会の実力・競争力を国際比較した二〇〇四年度世界IT報告で、日本は世界第八位であった。しかし、教育では公立小中学校でのLAN導入率は四十四パーセントであり、政府のIT戦略本

部は二〇〇五年度中に百パーセント達成の目標ということであるが、本市の状況について伺いたい。また、教職員が率先して地域に溶け込み、地域住民、保護者とともに悩み、考え、行動することが開

教育長

市においては、校内LANの重要性を認識し率先して導入した結果、中学校では十七年度で百％、小学校は改築の計画がある北小学校を除き十八年度で百％の整備になります。今後は、校内LANにより授業に必要な情報



小中学校のIT化への対応を

を即時に得ることができ、授業の効果が上がるよう有効活用したいと考えています。開かれた学校と防犯については、防犯上の対策として門扉を閉じても、学校と地域住民、PTAとの情報交換や、地域人材の活用などを通して一体化し、学校と地域が交流し、子ども達の育成に当たることが、望ましい姿であると考えています。

グラウンドゴルフ場の

施設整備について

日本共産党議員団 八田 利重

質問

グラウンドゴルフは年々愛好者が増加しています。中高年が健康のために汗を流し、練習している姿が市内のどこでも見受けられ、大会ともなれば、数百人が参加して行われる状況です。

そこで、利用者の視点からラブリバークラウンドゴルフ場及び境広瀬川グラウンドゴルフ場におけるトイレの増設、整備の考えについて、また、利用者がプレーしやすいよう芝の管理方法についてお聞

きたい。

市長

ラブリバークラウンドゴルフ場のトイレについては、現在使用していない二基の仮設トイレを修繕し、使いやすい場所に移動し、衛生面に気を配り利用しやすいようにしたいと考えています。

また、芝刈りについては、適宜芝の状態を把握し、気持ちよくプレーできるよう対応したいと思っています。

次に、境広瀬川グラウンドゴルフ場について、現在施設内に四カ所の仮設トイレを設置しておりますので、清掃等に十分配慮し、衛生の保持に努め利用していただきたいと考えています。

また、芝生の管理については、業務委託により実施しておりますが、利用状況等を踏まえ適切に対応したいと考えています。



グラウンドゴルフ場の管理方法は

一般質問

防災の男女共同参画推進について

公明党 岩崎 琴美

質問

災害は、時、場所を選ばず、特に最近の日本列島はその様相を呈しており、災害に強い都市計画や防災計画、その時の対応が注目されます。災害時に女性の支援者が少ない状況では、女性からの相

談や要望、特に健康面に関することは言いづらい場合もあります。そこで、防災計画から災害復興時までの男女共同参画推進についてお伺いしたい。

市長

本市においては、災害に対する予防・応急対策・

復旧計画の策定に当たり、防災会議を設置し、防災関係機関の代表者を委員として委嘱しており、現在、女性委員は女性防火クラブの会長一人です。今後、防災会議委員については、女性委員の比率を上げることに配慮したいと考えています。また、計画から災害復興時までにおける対応について、女性の立場から意見が必要な場合は、専門委員と

して、災害予防や応急対策に災害弱者施設の職員や保健師男女共同参画担当職員等の女性委員を検討したいと考えています。

復興活動において、女性の視点から解消された事例からも、女性の参画が必要であると考えており、自主防災組織と災害対策本部との連絡係の行政町内担当職員には三割の女性職員を配置しています。



防災への女性参画の推進を

要介護者の住宅改修費・老人住宅改修費補助金等の受領委任払いについて

公明党 内田 彰

質問

現行の介護保険制度では、要介護者への保険給付として、二十万円を上限とした住宅改修費用や、十万円を上限とした福祉用具購入費用のうち、その費用の九割を後から本人へ償還するというサ

ービスを行っています。

しかし、この現行制度のままでは、一度は費用の全額を支払わなければならず、年金暮らしの高齢者にとっては、経済的な負担が大きく、なかなか利用しづらい環境にあり

ます。

そこで、事前に市に申請すれば、工事費用の九割を市が直接業者に支払う、受領委任払いに変えることにより、お年寄りの負担軽減はもとより、悪質なりフォーム業者のチェックも出来ると考えられます。また、同様の趣旨により、介護保険以外の高齢者や障害者に対する住宅改修助成や、介護用車両購入等の補助助成



介護保険の利便性向上を

についても、従来の償還払いの制度から、早急に受領委任払い制度に改正すべきと思いますが考えをお聞きたい。

市長

介護保険制度では、要介護者の負担を軽減するために、給付金の支給に当たり業者に直接支払う受領委任払いの制度が認められています。本市においても、同制度の導入について総合的に検討したいと考えています。

成立した議案

今回の定例会で成立した市長提出議案

は、平成十六年度決算認定五十二件、条例関係十五件、補正予算九件、その他九件のあわせて八十五件で、いずれも原案どおり可決しました。

市民が安心して安全に暮らせるまちづくりを推進

◎伊勢崎市安心安全まちづくり条例

多くの市民が犯罪や市街地の生活環境の悪化に不安を感じている現状があることから、市民にとって暮らしやすい地域社会の実現を図ること

を目的として、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりを推進するものです。

条例の概要は、市、市民、地域活動団体及び事業者等の責務を明らかにするとともに、安心で安全なまちづくりに関する基本的事項を定めている

その他の議案

▽伊勢崎市行政手続条例の一部を改正する条例

▽伊勢崎市行政手続等における情報通信の技術の利用に

ほか、防犯・犯罪対策、青少年育成対策及び風俗営業適正化対策の三点を柱としています。

関する条例

▽伊勢崎市職員定数条例の一部を改正する条例

▽伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例

▽伊勢崎市小型自動車競走実施条例の一部を改正する条例

例

▽伊勢崎市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例

▽伊勢崎市みやまセンター条



いせさき明治館

- 例の一部を改正する条例
- ▽伊勢崎市高齢者生きがいセンター1条例の一部を改正する条例
- ▽伊勢崎市境社会福祉センター1条例の一部を改正する条例
- ▽伊勢崎市いせさき明治館条例
- ▽伊勢崎市管住宅管理条例の一部を改正する条例
- ▽伊勢崎都市計画事業西部土地区画整理事業施行規程等の一部を改正する条例
- ▽伊勢崎市火災予防条例の一部を改正する条例
- ▽伊勢崎市介護老人保健施設事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- ▽平成十七年度市営羽黒住宅中耐新築工事（G工区）請負契約の締結について
- ▽羽黒終末処理場電気設備更新工事（受変電設備）請負契約の締結について

- ▽土地の取得について
- ▽土地の交換について
- ▽市道路線の廃止について
- ▽市道路線の認定について
- ▽平成十七年度伊勢崎市一般会計補正予算（第二号）の専決処分承認について
- ▽和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の承認について
- ▽群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について

報告事項

- ▽平成十六年度赤堀町土地開発基金運用状況報告について
- ▽平成十六年度東村土地開発基金運用状況報告について
- ▽平成十六年度境町土地開発基金運用状況報告について
- ▽平成十六年度伊勢崎市美術品等取得基金運用状況報告について
- ▽平成十六年度（一月～三月）伊勢崎市土地開発基金運用状況報告について
- ▽平成十六年度（一月～三月）伊勢崎市美術品等取得基金運用状況報告について

請願の審査状況

- 経済市民委員会付託
- 介護保険利用料の助成充実を求める請願（閉会中継続審査）

平成十六年度一般・各特別会計等決算を認定

平成十六年度一般会計及び各特別会計等の決算議案五十二件については、九月五日の本会議において決算特別委員会を設置し、付託しました。平成十六年度決算については、一月一日の市町村合併により、旧市町村及び一部事務

組合の決算は十二月末日までの打ち切り決算となり、また、新市、伊勢崎市における決算についても、それら打ち切り決算における債権債務を承継した一月一日から三月末日までの決算となるなど、合併年度特有の決算となりました。

平成17年度 会計別補正予算の総括表

(単位：千円)

区 分		補正前の予算額	補 正 額	計
一般会計（第3号）		61,916,948	1,651,148	63,568,096
特別会計	学校給食センター事業費（第2号）	1,771,473	△23,820	1,747,653
	国民健康保険（第1号）	16,952,175	690,671	17,642,846
	老人保健（第2号）	14,057,242	1,245	14,058,487
	介護保険（第1号）	7,926,358	269,295	8,195,653
	介護サービス事業費（第1号）	98,408	6,628	105,036
	下水道事業費（第1号）	4,660,772	20,735	4,681,507
	農業集落排水事業費（第1号）	627,972	△8,196	619,776
	病院事業（第1号） （資本的）	883,103	226,875	1,109,978

決算特別委員会の審査は、九月十二日及び十三日に行われ、一般会計については款ごとに、特別会計については一件ずつ順次質疑を行い、さらに、決算全般に対する総括質疑の後、討論、続いて採決

を行い、慎重に審査を行った結果、いずれも認定すべきものと決定しました。

（平成十六年度旧市町村及び一部事務組合の決算は八ページ、新しい伊勢崎市の決算は九ページに掲載）

平成16年度決算 一般・特別会計等決算額（4月～12月）

（単位：円）

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額	差引残額
伊勢崎市一般会計		30,211,925,492	28,838,458,335	1,373,467,157
伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計		13,992,371,746	16,551,560,549	△2,559,188,803
伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計		700,967,050	602,523,420	98,443,630
伊勢崎市国民健康保険特別会計		7,099,110,009	6,978,969,327	120,140,682
伊勢崎市老人保健特別会計		6,543,136,603	6,306,610,801	236,525,802
伊勢崎市介護保険特別会計		3,363,260,433	3,451,933,699	△88,673,266
伊勢崎市下水道事業費特別会計		1,667,970,580	1,327,268,887	340,701,693
伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計		36,514,317	27,482,682	9,031,635
赤堀町一般会計		4,326,075,485	3,801,796,204	524,279,281
赤堀町国民健康保険事業特別会計		1,131,068,743	1,016,336,587	114,732,156
赤堀町老人保健特別会計		776,545,090	750,808,559	25,736,531
赤堀町農業集落排水事業特別会計		274,862,603	229,743,380	45,119,223
赤堀町学校給食共同調理場事業特別会計		122,177,026	107,782,116	14,394,910
赤堀町介護保険事業特別会計		381,645,513	372,693,914	8,951,599
赤堀町介護サービス事業特別会計		73,794,391	78,155,126	△4,360,735
赤堀町下水道事業特別会計		208,691,384	196,223,593	12,467,791
東村一般会計		5,862,508,066	5,399,318,973	463,189,093
東村国民健康保険特別会計		1,464,765,308	1,124,799,478	339,965,830
東村介護保険特別会計		520,509,924	497,852,887	22,657,037
東村老人保健特別会計		945,294,423	913,145,606	32,148,817
東村学校給食センター事業費特別会計		145,078,597	129,106,067	15,972,530
東村農業集落排水処理事業特別会計		144,890,384	96,861,571	48,028,813
東村公共下水道事業特別会計		420,257,697	470,025,840	△49,768,143
境町一般会計		7,919,422,662	7,240,166,355	679,256,307
境町国民健康保険特別会計		1,830,053,825	1,747,883,027	82,170,798
境町老人保健特別会計		1,819,454,886	1,718,798,616	100,656,270
境町介護保険特別会計		1,069,320,771	1,037,029,234	32,291,537
境町下水道事業特別会計		827,623,410	774,809,074	52,814,336
境町学校給食センター事業特別会計		251,322,909	251,251,409	71,500
伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合一般会計		2,205,107,581	2,205,107,581	0
伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合農業共済事業		320,714,905	311,958,717	8,756,188
伊勢崎佐波医療事務市町村組合介護老人保健施設事業		198,221,208	186,459,082	11,762,126
伊勢崎佐波医療事務市町村組合訪問看護事業		44,183,769	47,686,075	△3,502,306
伊勢崎市水道事業	収益的	1,959,567,205	1,664,103,688	295,463,517
	資本的	136,500,000	480,010,581	△343,510,581
赤堀町水道事業	収益的	420,769,031	341,457,421	79,311,610
	資本的	600,000	55,854,491	△55,254,491
東村水道事業	収益的	333,948,632	288,569,524	45,379,108
	資本的	54,403,650	200,529,916	△146,126,266
境町水道事業	収益的	326,378,774	300,427,512	25,951,262
	資本的	40,831,367	199,152,850	△158,321,483
伊勢崎佐波医療事務市町村組合病院事業	収益的	9,875,081,559	9,401,946,467	473,135,092
	資本的	379,281,000	748,045,107	△368,764,107

平成16年度決算 一般・特別会計等決算額（1月～3月）

（単位：円）

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額	差引残額
伊勢崎市一般会計		27,129,753,581	23,373,115,528	3,756,638,053
伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計		3,128,205,948	5,728,719,935	△2,600,513,987
伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計		561,464,182	525,883,770	35,580,412
伊勢崎市国民健康保険特別会計		5,742,332,325	5,516,182,578	226,149,747
伊勢崎市老人保健特別会計		4,776,515,631	4,778,114,949	△1,599,318
伊勢崎市介護保険特別会計		3,070,538,138	2,802,103,146	268,434,992
伊勢崎市介護サービス事業費特別会計		36,492,012	27,021,453	9,470,559
伊勢崎市下水道事業費特別会計		2,670,522,791	2,506,544,249	163,978,542
伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計		309,228,670	274,723,704	34,504,966
伊勢崎市農業共済事業		88,602,493	77,884,276	10,718,217
伊勢崎市介護老人保健施設事業		57,472,667	45,313,557	12,159,110
伊勢崎市訪問看護事業		13,358,903	9,628,321	3,730,582
伊勢崎市水道事業	収益的	1,076,115,536	1,345,804,327	△269,688,791
	資本的	317,646,248	815,419,510	△497,773,262
伊勢崎市病院事業	収益的	3,026,313,478	2,869,330,322	156,983,156
	資本的	126,684,000	671,476,528	△544,792,528

議 員 提 出 議 案

今回の定例会に提出された議員提出議案は、意見書3件で、9月26日の本会議で可決しました。

なお、意見書については、内閣総理大臣ほか関係の大臣に送付し善処を要請しました。

義務教育費国庫負担制度の堅持にかかわる意見書

義務教育費国庫負担制度については、昭和60年度予算において旅費・教材費に対する国庫負担を一般財源化して以来、年々その削減項目を増大させており、平成17年度予算においては、唯一残る教職員給与費のうち中学校費を交付金化した。そして、18年度予算については、義務教育費全額の一般財源化、すなわち国庫負担制度の廃止も検討しているとのことである。

しかし、義務教育に対する国庫負担制度は、教育の水準維持と機会均等及び地方財政の安定のため、国が財源を保障するとの趣旨で確立されたものであり、この国庫負担を縮小することは義務教育行政の円滑な推進に重大な影響を及ぼすものである。

よって、政府においては、義務教育の水準確保と地方教育行政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く要望する。

決算特別委員会の構成

委員長	堀 田 栄 一	(伊勢崎クラブ)
副委員長	高 橋 友 七	(境 ク ラ ブ)
委員	板 垣 宣 良	(伊勢崎クラブ)
"	堀 込 清 孝	(")
"	堀 地 和 子	(")
"	伊 藤 純 子	(")
"	渡 邊 純 一	(赤 堀 ク ラ ブ)
"	吉 澤 正 澄	(")
"	石 井 保 雄	(")
"	藤 生 幹 好	(")
"	秋 間 好 雄	(")
"	山 越 亘 亘	(境 ク ラ ブ)
"	小 暮 茂 章	(")
"	井 田 隆 三	(")
"	根 岸 照 彦	(東 ク ラ ブ)
"	今 井 照 勉	(")
"	田 島 利 明	(")
"	小 暮 昌 訓	(")
"	小 保 方 公 子	(日本共産党議員団)
"	長 谷 田 秀 明	(公 明 党)
"	大 嶋	



決算特別委員会

地域経済の活性化を求める意見書

地域経済は依然として疲弊し、地域間格差がますます拡大しようとしている。今、必要なのは、雇用の維持・創出、失業者支援の抜本強化などの政策を進め、地域経済を活性化することである。

しかし、政府は財政再建を最優先した歳出削減を目指し、財政負担の地方への転嫁や企業や国民に負担増となる社会保障制度の見直しを行い、地方における公務員賃金も一方的に引き下げようとしており、こうした政策は地域格差を一層拡大することになる。

地域における公務員賃金の一方的な切り下げは、公共サービスの低下を招き、地域の民間企業や団体組織で働く労働者に悪影響を与え、地域経済を疲弊させることになる。また、勤労者家計の消費低迷により、地域経済はスパイラル的な停滞と格差の拡大を招くことになる。

よって、国においては、公務員賃金の見直しについては十分な労使協議を行うなど、雇用の安定を図り、格差解消のための積極的施策を講じ、地域経済の活性化を図るよう強く要望する。

社会保障制度の抜本改革に関する意見書

公的年金制度は、国民の高齢期の生活を支える重要な社会保障制度であり、年金制度の改革は国民の最大の関心事となっている。

政府は公的年金制度改革を行うため、平成16年、年金改革関連法案を国会に提出し、6月5日、参議院において可決・成立した。

しかし、年金制度は職業によって分かれ、負担と給付が異なっていることや年金制度に対する不信感により、国民年金の未加入・未納が発生するなどの問題も残されている。

今後は、我が国の年金制度が抱える問題や介護・障害者サービスの決定、医療制度の改革など、社会保障全体の抜本的改革を行うことが必要である。

よって、国においては、国民が生涯を通じて安心して暮らせる社会保障制度を創設するため、下記の事項について、早急に実施するよう強く要望する。

記

- 1 基礎年金制度の充実のため、各種年金、社会保障制度全般の見直しを行うこと。
- 2 子育て支援の充実、雇用政策、住宅政策などとの連携を十分に図ること。
- 3 国民年金の未加入者及び未納者に対する通知、督促を適正に行うための措置を講じること。

常任・議会運営委員会名簿

委員会構成の一部が変更になりました。

平成17年9月1日現在

委員名	総務	文教福祉	経済市民	建設水道	議会運営
定数	20人	21人	21人	21人	15人
委員長	金井秋雄※	小松光一※	今井照彦	町田一郎	野田文雄※
副委員長	池田弘	田村陽子	吉山勇	原智	藤生悦司※
委員	秋間好雄	秋山隆幸	新井利榮	阿久津吉章	大嶋秀明
	井田隆章	磯高幸	新石井保	岩崎琴美	小此木董一※
	小此木董一	小保方利治※	板垣宣良	内田彰彰	川田秋雄
	小保方晏司	金子善衛	糸井敏雄	小保方昌訓	北島元雄
	小島和茂	川田秋雄	伊藤純子	神沢喬雄	斎藤優
	斎藤優一	菊地一枝	大嶋秀明	国定政利	高柳勝太郎※
	定方英一	小暮茂夫	北島元雄	小暮利明	田村幸一
	佐藤幸夫※	小谷達夫	近藤勝美	須永武久	常木恒男
	須田育男	新藤眺旦※	下境重夫	高橋栄一	原田和行
	津久井健一	新鈴木良尚	高木敏雄	田嶋勉三	堀田満喜雄
	常木恒男	田沼松太郎	高木敏雄	根岸忠雄	松村哲夫
	長沼章雄	田村幸一	高橋友七	長谷川克三	茂木典之
	八田利重	野田文雄	高柳勝太郎	原田悦行	大和
	藤村辰雄	堀込清孝	根岸良治	藤生幹雄	
	堀田満喜雄	堀込清孝	堀田栄一	堀地和典	
	堀込忠三	松村哲夫	堀田栄一	茂木典之	
	三好直明	矢島征司	松本輝一	本木内忠	
	吉田光男	大和邊正一	室田一徳	矢内澄	
			山越亘	吉澤	

※が役職・所属が変更になった委員